

歯科保健と食育を取り巻く状況

○「8020 運動」の推進（平成元年～）

… すべての国民が健やかで豊かな生活を過ごすため、80 歳になっても自分の歯を 20 本以上保つことを目的とした「8020 運動」の一環として、食生活を支える口腔機能の維持等について指導を推進されてきた。

○「新健康フロンティア戦略」の推進（平成 19 年 4 月～）

… 国民自らが取り組んでいく関連分野として「歯の健康力」と「食の選択力」があり、生涯を通じて 8020 運動を推進する観点から、食育対策との連携が謳われる。

○日本歯科医師会等関係 4 団体から「食育推進宣言」が発表（平成 19 年 6 月）

【 食育推進宣言(抄) 】

1. 「食べ方」を通して、生涯にわたって安全で快適な食生活を営むことを目的とした食育を推進する。
2. あらゆる場と機会を通して、口の健康を守り五感で味わえる食べ方ができる食育を推進する。

（日本歯科医師会、日本歯科医学会、日本学校歯科医会、日本歯科衛生士会）

○日本歯科医師会より食育と歯科に関する目標値が設定（平成 20 年 3 月）

【食育と歯科に関する目標値】

1. 食べ方（噛み方、味わい方等）に関心のある国民の割合： 80% (67.1%)
2. よく噛んで食べることが健康に良いことを知っている国民の割合： 100% (96.9%)
3. よく噛んで食べることが肥満防止になることを知っている国民の割合： 90% (83.4%)
4. かみごたえのある食材を意識して食材に取り入れる国民の割合： 60% (49.5%)
5. 五感（視覚、触覚、味覚など）で味わう食べ方を知っている国民の割合： 60% (59.1%)
6. よく噛むこと（一口 30 回程度）を実践している国民の割合： 40% (20.5%)
7. 老人が餅などを詰まらせて窒息する危険を知っている国民の割合： 100% (97.3%)
8. 歯科関係者が食育推進に関与していることを知っている国民の割合： 70%
9. 8020 運動を知っている国民の割合： 80%

※（ ）内の数値は平成 20 年 3 月 15 日～16 日に池袋サンシャインシティ文化会館で開催された「健やか生活習慣フェスタ」の参加者対象に行ったアンケートから算出したベースライン値

○食育白書作成（平成 18 年版）以降、8020 運動等の歯科保健に関する内容が記載。

※平成 20 年版の白書においては、「子どものむし歯 (P. 16・20)」「歯科保健活動における食育の推進 (P. 63・64)」が項目として記載。